



湖東支部会報

平成30年2月10日発行（平成29年度 第2号）◆発行責任者 藤居 忠治 ◆編集責任者 澤 好成

今年も健康で楽しい一年でありますように

迎



春

年頭の挨拶



湖東支部長 藤居忠治

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方に於かれましては平成三十年の新春をお健やかに迎えられたことと、お慶び申し上げます。

さて、昨年は地域対策部会の新設や常任委員会の運営方法の改革を行い、組織の強化を図ると共に、恒例行事は作品展に始まり、グラウンドゴルフ大会・研修旅行・新入会員歓迎会等々の同窓会行事を遂行出来ましたことは、皆様方のご協力のお蔭と厚くお礼申し上げます。

また地域対策部会を中心に彦根総踊りに出場し、レイカディア大学の存在を多くの皆さんに知っていただきました。

また九月には、三十八期生

七名の新入会員のみなさんをお迎えし、地域の同窓会仲間が増え、心強く、感謝しております。

さて、新しい年を迎え湖東支部として何をすべきか、より活動を充実させるにはどうすべきかを皆様と共に考えていきたいと思っております。

これからの地域活動は、現状の同期生仲間中心の各種活動では無く地域の住民の皆さんを巻き込んだ活動の輪を広げることが大切であると思えます。

その為には、各市町村の行政や社協と連絡を取りながら積極的に協力して行くことが、第一歩ではないかと思えます。

地域に根を下ろした活動こそが、レイカディア大学の存在を確固たるものにします。

次に我々が活発な活動を目指すためには、やはり健康が一番です。

滋賀県は平均寿命が全国で男性は一位、女性は四位となりました。健康で長生きしてこそいろいろな活動が出来るのではないのでしょうか。健康な暮らしは、自己責任と自己防衛、そして自己努力が大切だと言われております。

本年も健康で生活するための目標を持って、毎日を送りたいものです。

これからも皆様方の一層のご理解と長年培ってこられました知識・経験を活かしてお力添えいただけますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員のみなさまの益々のご活躍とご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます、年頭の挨拶といたします。

訪問インタビュー

彦根仏壇の金箔張り、保護司の活躍、グラウンド

ゴルフの数々の優勝など、幅広いご活躍

スポーツ学科十五期 野瀬 礼子さん



昨年末、彦根市の自宅を訪ねた。「このあいだグラウン

ドゴルフで会いましたね」と言っていた。すでに知っていた。大ご入学のきっかけなどから伺っていくことにしました。グラウンドゴルフ仲間の勧めで入学、大正十五年四月生まれの野瀬さん、戦前、戦中、戦後を経てこられた人生の大先輩です。

その経歴の中のレイ大は僅かに二年かもしれないが、今から二十三年前、当時からグラウンドゴルフ仲間があり、楽しまれていたそうです。その仲間から「とにかく楽しい所やで」「行ったらいいで」とレイ大入学を誘われ、勧められたそうです。

す。講義は月に一回で、現在とはかなり違って、「踊りや、レクリエーションダンスを頻繁にしております」と言われる。

「男女半々の二十名、今日でもそうでしょうが、湖北、湖東、近江八幡地域等からの学生の交流で新たな人間関係が生まれましたよ」また県外へ出かけての一泊研修も体験し、特に沖縄での交流は特に思い出深いようで、沖縄の民謡を習い、返礼に彦根踊りや江州音頭を披露されたそうです。当時から沖縄にもシニア対象の大学があったようです。

「とにかくスポレクは楽しかったです。皆さんにうらやましいと言っていたら、又メンバーの中に活発な方がおられ、引っ張っていただきました」と言われる。卒業されてからの活動はどうだったのでしょうか。

気持ちを若くもってこそ

「彦根の福祉センターを拠点に金龜会を立ち上げたところ、卒業生が次々ときやほりましてね、五十名ぐらいに成りました」メンバーで、老人ホームの慰問をして、レクリエーションを指導、またいろんな催しを見つけては、日頃の成果を発表するなどの活発な活動を行なわれたそうです。「ボランティアで行きますと、皆さん喜んでいただけます。それだけに、もっと若かったらより活動出来るな」と笑ったことでした。

「戦争を体験してきた私共でしたから、レイ大仲間ではこれが青春だと言っていましたよ」

野瀬さんの健康法をお尋ねしましたところ、「年齢に関係なく、気持を若くもって行くことです」というお言葉をいただきました。

具体例にグラウンドゴルフ効果をあげられました。長年のグラウンドゴルフを通じて、現在の健康維持があり、仲間とのさりげない会話や交流が生まれている様でした。

「レイ大が取り持つご縁で、グラウンドゴルフは益々機会が増え、早くも、三十年の体験に成りましようか」「お陰様で、足腰が強くなりま

した」ただ、楽しむだけでなく、その中でいろいろな役割も果たしてこられた。またいくつもの大会での優勝経験はすばらしい。特に平成四年に行われた彦根市の大会での優勝は思い出に残るものだったようです。今年も、色んな機会を得て積極的に参加されることでしょうか。ご一緒の時には、声援を送りたいものです。

娘さんから見られたお母さんはと聞くと、この日、立ち会っていただいた長女の河分清子さんから、野瀬さんについて述べていただくことが出来ました。「母は、コミュニケーションが上手だと思います」「この一言につきるかもしませんが・・・」

野瀬さんは、戦後10年近くの間、彦根仏壇の世界に入られ、金箔張りをされている。その作業は、集中と緊張の中、行わなければならない。その実力が認められ、うちに来てくれないかと、引く手数多だったそうです。伝統芸術の世界で活躍された一面もあったのです。

戦前の10代の頃は、国鉄の安土駅に務めておられました。戦後ま

もなくのこと、帰還兵の方が、よ
うやく帰国できたにもかかわら
ず、満員の列車の外にぶら下がり
状態だった人が落ちて、亡くなっ
たのを見たと言われる。食糧不足
で、草まで食べたことがあるとい
う体験もお話いただきました。

「ご経歴から、なかなかコミュニ
ケーション上手というイメージ
につながってきませんが、レイ大
での研修と交流、グラウンドゴル
フでのさりげない意思疎通の機
会などが積み積もって、培われ
たのではないかと勝手ながら
思わせていただきました。

保護司としての日々の活躍
野瀬さんのご活躍に保護司とし
ての日々があったことを知る場
面がありました。床の間に置かれ
ていた表彰額に注目させていた
だきました。「あなたは多年にわ
たり更生保護女性会の充実と各
種活動の実践に努められその功
績はまことに顕著であります。よ
ってここに表彰いたします」平成
二十二年九月三十日近畿厚生保
護女性連盟会長 庖刀照子と記
されていました。
20年以上の実績を残された一面

を知る事が出来ました。

県の委託を受けられてのお仕事
ですが、「ご承知の通り、人格、識見
ともに問われるお仕事です。「刑務
所や少年院などへ何度も行かせて
いただきました」日常、自転車に乗
り、お出かけの野瀬さんは、グラウ
ンドゴルフだけのことではなかつ
たのです。「若い方も、そんなに入
ってもらって頑張って頂戴」と、ハ
ッパをお掛けいただきました。

このたびは、野瀬さんのご努力で
鍛えられたコミュニケーションの
力とそのご成果を知った次第です。

最後にこんなエピソードも

「京都の宇治市にある少年院へ行
った時にそこで働いている孫に偶
然会いましてね、おばあちゃんのや
っていることを初めて知って、驚い
ていました」

国鉄時代の恋愛結婚だったご主
人は十年前に亡くなられたとい
う。今はお近くに住む河分さんやご子
息に守られてお幸せな日々を過
しておられます。

訪問者 澤好成 記

**平成29年度米寿慶祝の方々の
健康法をご紹介**

先の号で、湖東支部対象の慶祝者を
ご紹介いたしました。本部総務担
当の藤居支部長が、県下の対象者29
名様に健康法について、はがき返信
の問いかけをしたところ、次の方々
からお答えがありました。会員の皆
様、ご参考にいかがでしょうか。

湖東支部15期生活・鈴木 君江 様

ぼけないように、同年代の人と集ま
ってお話するようにしています。

湖東支部15期生活・藤 一恵 様

週一回、筋トシに通っています。月

二回、字のサロンで体操や歌を歌っ
たりクイズをしたり色々なお話を
聞いたりいろんな行事に参加して
います。友人と旅行もしていますよ。

湖東支部13期園芸・草野 一二三 様

週二回のグラウンドゴルフをして
ます。盆栽の世話もしています」

湖東支部23期生活・北村 昌子 様

毎日朝夕犬の散歩。自家製のヨーグ
ルトを食べています。他の支部の
方々からの実践もご紹介いたしま
しよつ。

高島支部14期文芸・清水 豊 様

適度の畑作業。朝夕の散歩。趣味の

(冠句)作り。

高島支部21期園芸・増尾 和博 様

六十八歳から八十五歳までグラウンド
ゴルフをやりましたが、背柱管狭窄症で
歩行が困難のため止めました。家庭菜園
を少しばかりですが、現在も何とか頑張
ってやっております。

湖北支部14期生活・西堀 篤子 様

歩行困難でも、手の仕事ができますので
月二回、布を使つての物作りボランティア
に参加して、仲間たちと楽しい一時を
過ごし、ぼけ防止にと頑張っています。

湖北支部21期スポレク・岸本 四郎 様

在学中、草川先生に教えていただいた
フォークダンスを、長浜サンパレスにて
約二十年間、皆さんに指導し、現在四十
名の会員と共に、健康維持の踊りに励ん
でおります。

湖北支部18期文芸・柴田 弥蔵 様

毎週金曜日に、町会館へ老人の有志が
集まり、転倒予防体操をやっています。

湖北支部24期・園芸・松本 義雄 様

月、四々五回の老人クラブのグラウンド
ゴルフに参加しています。

湖北支部20期園芸・高田 忠則 様

散歩と庭先の雑草取り
湖北支部14期生活・西村 てる子 様

六十歳で退職以来、米原市社協に登録、
現在もデイサービス等に伺っております

す。週に一回社交ダンスに行つて若さを保つよう、心掛けております。

湖北支部20期文芸・澤渡 和子 様

レイ大20期生として学ばせていただいたことで、老後の心の持ち方、地域であり方を身につけ、仲間は少なくなりましたが、一日でも長く、元気で楽しい仲間づくりを続けております。

湖北支部17期文芸・大橋 裕美 様

漠然と日暮を重ねるうちに、気力、体力共に劣ってきて、遠出が辛くなっております。動ける間、野菜作り、花作りを楽しみたいと思ひ居ります。

中部支部20期園芸・細井 満佐子 様

お天気が良ければ畑へ出て、野菜を育てるのを楽しみにしています。土や自然からパワーをもらつて、何とか元気に暮らしています。

草津栗東支部23期文芸・高田 伍一郎 様

地域のいきいき体操に参加しています。

会員の広場

アグレッシブな老後を

37期園芸学科 若宮 博史

レイカ大学卒業後、授業がなくなり、少しでも外出する機会を増やそうと、以前から参加していた、彦根市雨壺山護林会活動をはじめ、いろいろと参加しています。37期園芸同級生仲間と近江八幡市の旧家、岡本

邸の数年放置されていた庭園整備、安土城跡にある総見寺の庭園整備、永源寺里山のログハウス造営、サポート隊への参加等々です。レイカ大学入学のお蔭で多くの活動の場を得ることが出来ました。老人は「教養」と「教育」が大事だと言われます。「今日の用事」と「今日行く」ところを自ら作つて、アグレッシブな老後を送りたいものです。

地域活動事例発表会に参加して

36期園芸学科 鳥越 正夫

昨年十一月六日、恒例の地域事例発表会が近江八幡市の「ひまわり館」で開催されました。今回は第十回の節目であり、私達の活動テーマ「生ごみ削減」を支部代表として発表させてもらった事は光栄の至りでした。

各支部発表九テーマは、桜並木保守、施設用具手入れ、紙芝居、よし笛、等々と多岐に亘つた内容で、力強く生き生きと発表されている姿を拝聴、レイ大同窓会の元気パワーは凄いなと感動しました。レイ大で学んだ「自立・奉仕・助け合い・生きがい」をベースに、私達の地域活動も在校生や、一般住民の方々と一緒に地域に根ざした運動で、更に輪が広がるよう頑張りたいと思っています。

新会員歓迎会



ハンドベル演奏やクイズ大会等多才な余興あり、盛り上がる

彦根ばやし総踊り大会



40名揃い組、初参加で地元のみなさんから注目される。

支部クラインドゴルフ大会

優勝は西澤則彦さん(37期健康)

荒神山GG会場にて



研修旅行



伊勢内宮～倭姫宮等参拝・見学

作品展



力作揃い、出展数59点

編集後記

今回は紙面文字数の制約がある中、読み易くする為、文字サイズを少し大きく工夫しました。皆様へより愛読される事をめざして努力していきますのでご意見を願ひいたします。

広報部会一同

